

## 市川市総合交通計画（第2回改訂）

### ＜施策・事業の進捗＞

市川市総合交通計画施策・事業の進捗状況	1～4頁
代表的な施策の実施状況	
①施策No1 外環道路の整備イメージ	5頁
②施策No1 外環道路の主な整備効果	6頁
③施策No8 都市計画道路3・4・18号浦安鎌ヶ谷線 整備イメージと整備効果	7頁

平成27年1月

市川市総合交通計画施策の進捗状況

※朱文字は第2回改訂計画において追記した内容を示す。

施策・事業の方向性	主な施策・事業	実績(平成26年3月時点)			
		完了	継続中	未実施	取り組み状況 ◎具体策の完了 ○:実施済み、実施中 △:検討中、関連事業実施 ×:未実施
① 幹線道路網の整備を進めます	○都市計画道路の整備推進				
	1 ・外環道路		★		○ 平成29年度の供用に向け整備中 超高齢社会を見据え、交差点部の横断については歩道橋による横断から横断歩道による平面横断へ変更、中央分離帯に休憩施設を配置する等の検討し、整備予定。
	2 ・外環道路に関連する施策(北西部)		★		△ 広域拠点アクセス強化型バス路線整備:関係機関を協議中。 サイクル&バスライド:国分バス停移設を実施。 自転車ネットワーク形成:外環道路一般部全線にて整備予定。 道の駅:国分6丁目にて設置予定。
	3 ・外環道路に関連する施策(南部)		★		○ 原木西浜区画整理において流通業務系の土地利用が図られている。
	4 ・3・4・12		★		△ 事業化に向けH25地域説明会を実施した。
	5 ・3・4・14			★	× 未実施
	6 ・3・4・23			★	× 未実施
	7 ・3・6・32		★		△ 事業化に向けH25地域説明会を実施した。
	8 ・3・4・18		★		○ 平成27年度末の供用に向け事業中である。
	9 ・3・4・13		★		○ 市道0112号より西側区間に(仮称)妙典橋整備に合わせ実施済み。
	10 ・3・4・19		★		○ 沿道のまちづくりとの整合性、外環道路事業の進捗状況を勘案しながら、検討していく。
	11 ・3・4・21		★		○ 千葉県にてH27年度完成を目指し事業中。
	12 ・3・5・28		★		○ H25年度に外環道路との接続部300m区間において歩行者のためのグリーンゾーン実施済み。 同区間についてH26.3月に事業認可申請済み。
	13 ・3・3・9		★		○ 船橋市上山町～市川市柏井1丁目において用地取得中。H25年度末の用地取得率55%。
	14 ・3・1・4、3・1・5(北千葉道路)		★		△ 国県沿線市において道路構造、都市計画変更等事業化に向け検討中である。
	15 ・3・5・26		★		○ H25年度末の用地取得率91%。
	○江戸川架橋の整備促進				
	16 ・(仮称)妙典橋		★		○ H27年度末完成に向け整備中である。
	17 ・行徳橋の架け替え		★		○ H29年度末新橋供用に向け設計中である。H24～25年度に地域説明会実施済み。
18 ・(仮称)押切橋		★		△ 都県において調整中。	
19 ・(仮称)大洲橋		★		△ 都県区市において整備スキームについて調整中。	
② 道路の維持・改良に努めます	○道路拡幅整備・改良の推進				
	20 ・市道0119号(大洲小付近)		★		○ バリアフリーとして点字ブロックは実施済み
	21 ・八幡中央通り(バスベイ)		★		○ 八中央通りの拡幅事業として用地取得中
	22 ・国道14号(バスベイ)			★	× 未実施
	23 ・市川松戸線(バスベイ)		★		△ 真間山下バス停を3車線となる国道14号側への移設を実施した。
	○交差点改良の推進				
	24 ・市道0124号(国府台女子学院付近)		★		○ 県道高塚新田市川線の交差点線形改修として検討中
	25 ・市道0112号(妙典橋交差点)	★			◎ 実施済み
	26 ・大柏橋信号制御改善		★		○ 警察と協議を行ったが、現状の制御が最善とのことで不調となる。
	27 ・行徳橋北詰交差点		★		△ 行徳橋の架け替え事業に併せ実施予定 H25年度地元説明会を実施済み。
	28 ・市川IC北側交差点	★			◎ H19年度、左折レーンの整備完了。
29 ・原木IC南側交差点			★	× 千葉県、市、NEXCO等と協議において外環道路開通後の交通状況を見極めて検討を行うこととされている。	
30 ・県道市川松戸線(国府台病院前)		★		○ 国府台病院前の交差点改良に併せ、バス停の整備を検討中。	

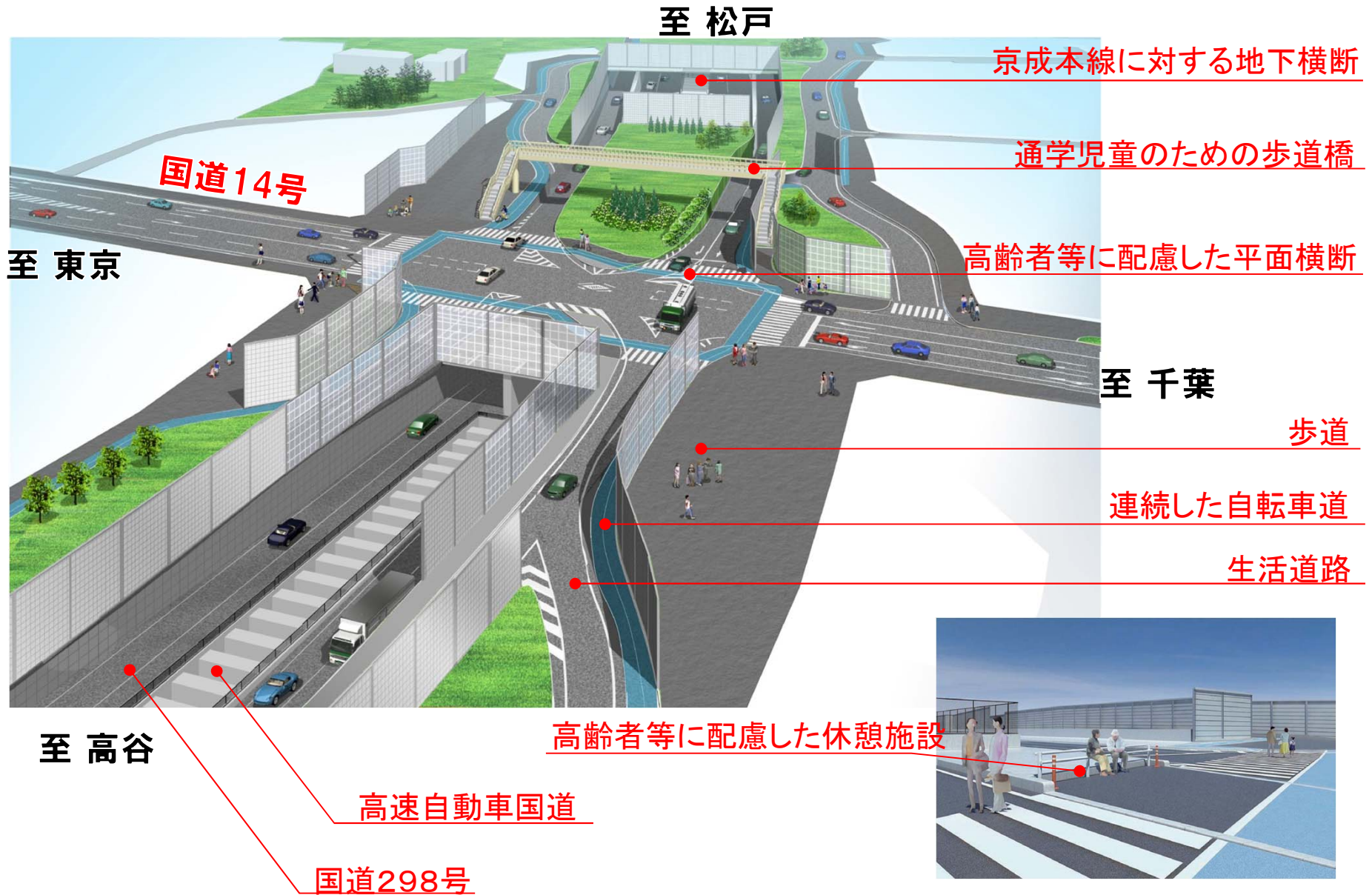
施策・事業の方向性	主な施策・事業	実績(平成26年3月時点)			
		完了	継続中	未実施	取り組み状況 ◎:具体策の完了 ○:実施済み、実施中 △:検討中、関連事業実施 ×:未実施
② 道路の改良を進めます	○生活道路の拡幅整備の推進				
	31 ・まごころ道路整備<新規追加>		★		○ H22年度2箇所 H23年度4箇所 H24年度4箇所 H25年度4箇所 の整備を実施。
	○橋りょう補修等の推進				
	32 ・長寿命化修繕計画の策定	★			◎ H24年度橋梁長寿命化計画を策定した。
	33 ・橋梁の予防保全型補修の推進<内容変更>			★	× H26年～30年にかけて、82基/128基の橋梁を順次補修予定。
③ 京成本線立体化を進めます	○京成本線立体化事業の促進				
	34 ・京成本線立体化		★		△ 平成10年11月に「市川市京成本線連続立体化と街づくり懇話会」を設置し、連続立体化と街づくりについて検討し、「市川市における京成本線と連続立体化と沿線街づくりに関する提言書」を平成13年4月23日に市長に提出した。現在、庁内で事業化にあたっての検討を進めている。
④ 公共交通の利用促進に努めます	○公共交通バリアフリー化の促進				
	35 ・駅舎のバリアフリー化<内容追加:ホームドアの導入>		★		○ 利用者3,000以上の15駅の内、13駅について完了、未整備は京成本線鬼越駅と菅野駅。
	○自動車の利用自粛の推進				
	36 ・ノーマイカーデーの実施実験			★	× 未検討。
	○駅周辺・駅前広場整備の推進				
	37 ・JR市川大野駅駅前広場	★			◎ H21～H25に駅前広場の整備を実施した。但しロータリー規模が小さいためバスの進入は不可である。
	38 ・北総大町駅前広場			★	× 未実施。
	39 ・京成菅野駅駅前広場			★	△ 外環道路の整備に併せ北口、南口を整備予定であり、検討中である。
	40 ・JR市川駅前広場	★			◎ H19北口広場の整備が完了した。再開発事業にて南口の整備も完了。
	41 ・JR本八幡駅前広場			★	○ H19駅前顔作り検討会を実施した。
	42 ・メトロ行徳駅前広場			★	○ 交通バリアフリー基本構想に基づき、段差解消、点字ブロック、無電中化等の整備を実施した。
	43 ・再開発事業(A地区)による駅周辺の整備	★			◎ H25年度のA地区の再開発と共に京成八幡駅周辺整備が完了した。
	⑤ 全ての人が歩行しやすい環境づくりに努めます	○歩行者空間整備の推進			
44 ・旧江戸川遊歩道整備		★			◎ 整備完了。
45 ・水辺の周回路整備				★	○ H16～H29の計画で塩浜において海岸護岸整備事業が実施されている。
46 ・大町レクリエーションゾーン整備				★	○ 大町レクリエーションゾーン整備事業にて市道拡幅を実施中である。
47 ・寺町通り、中山参道		★			◎ 整備完了。
○駅周辺駐輪場整備の推進					
48 ・北総大町駅		★			◎ H21まで市営駐輪場有り。H22より民間へ委譲された。
49 ・京成市川真間駅		★			◎ H23まで市営駐輪場有り。H24京成電鉄に委譲し、現在は民間駐輪場となっている。
50 ・メトロ南行徳駅				★	○ 路上駐輪場の整備を実施したが、供給不足が見られる。
○駐輪対策に関わる団体との連携					
51 ・駐輪対策に関わる団体との連携体制の強化		—	★		○ 『八幡自転車対策協議会』、『元気！市川会』等の商店街の団体と連携し、駅前の放置自転車に対する啓発活動等を通して、放置自転車抑制に向けた取り組みを行っている。
○人にやさしい道づくり					
52 ・人にやさしい道づくりの推進				★	○ 人にやさしい道づくり事業で主要4地区(市川・本八幡・行徳・南行徳)周辺の8経路、2.73kmのバリアフリー化整備を実施。
53 ・JR市川駅周辺、JR本八幡駅周辺				★	○ JR市川駅周辺のゆうゆうロードを除き、特定経路の整備完了、引き続きその他経路の整備を検討中。
54 ・メトロ行徳駅周辺、南行徳駅周辺			★	○ 特定経路の整備完了、引き続きその他経路の整備を検討中。	

施策・事業の方向性	主な施策・事業	実績(平成26年3月時点)			
		完了	継続中	未実施	取り組み状況 ◎:具体策の完了 ○:実施済み、実施中 △:検討中、関連事業実施 ×:未実施
⑤ 全ての人が歩行し易い環境づくりに努めます	○電線類地中化				
	55 ・電線類地中化の推進		★		○ H19より4箇所(中山参道、寺町参道、広尾地区、菅野地区)において市道6路線1.31kmの整備を実施した。
	○放置自転車対策の推進				
	56 ・指導員による呼びかけ	—	★		○ 継続的に指導員による指導を実施中。
	○高齢社会に対応した交通対策の推進				
	57 ・高齢社会に対応した交通対策の推進		★		○ 平成22年度より高齢者運転免許返納制度の導入した。バリアフリー重点整備4地区の特定道路の段差解消や駅バリアフリーを実施した。高齢者の歩行者、自転車利用者、自動車運転者に対し、交通安全講習を実施している。外環道路の計画あたり、高齢者横断のための配慮を計画に導入した。
⑥ 駐車場や交通情報の発信に努めます	○路上駐車排除の推進				
	58 ・南行徳駅周辺	—	★		○ 駐車監視重点地域として監視強化を実施中である。
	○駐車場整備計画				
	59 ・駐車場整備計画の見直し			★	× 駐車場整備計画にある主要4駅周辺の目標駐車台数は目標年次までに確保された。駐車需要が低下している状況を踏まえ、駐車場整備計画の見直しについては需要状況を変化時に検討を行う。
	○交通情報提供の推進				
	60 ・ホームページの充実化		★		○ 公共交通の運行状況、主要道路の渋滞情報等の関連事業者のHPを市のHPとリンクさせ周知を図った。道路工事の情報提供について現在検討中。
⑦交通手段選択性の向上に努めます	○レンタサイクル				
	61 ・レンタサイクルの推進		★		△ 別途駅にて、街かど回遊レンタサイクルが7駅(市川、本八幡、国府台、下総中山、行徳、南行徳、市川大野)にて実施中。
	○サイクル&バスライド				
	62 ・サイクル&バスライドの推進			★	× 東菅野5丁目の駐車場用地の確保等、今後検討を要す。
⑧ 地域における最適な公共交通の活性化に努めます	○地域公共交通連携計画				
	63 ・地域公共交通連携計画の検討		★		△ H21市川市地域公共交通総合連携計画を策定し、路線バス柏緯線の再編、コミバスの運行を開始した。
	○交通不便地域に対する方策				
	64 ・交通不便地域に対する方策検討<新規追加>			★	
⑨ 公共交通の利便性向上に努めます	○新設道路を利用した新たな路線バス網の検討				
	65 ・外環道路を利用した広域拠点アクセス強化(新規バス路線等)		★		△ 外環道路の整備に合わせ、新規バス路線の運行について公共交通協議会バス分科会にて検討中である。
	○コミバスの運行継続の推進				
	66 ・北総北国分駅への利用誘導を考慮したコミュニティバスの導入(延伸線)			★	× 未検討。
	67 ・鉄道駅を含むエリアでのコミュニティバスの導入、路線再編(南部ルート)	★			◎ コミバスの社会実験運行を、H22年度に本格運行に移行し現在事業中である。
	68 ・主要施設循環型コミュニティバスの導入(北東部循環ルート)	★			◎ コミバスの社会実験運行を、H22年度に本格運行に移行し現在事業中である。
	○バスロケーションシステム				
69 ・バスロケーションシステムの導入<新規追加>			★		

施策・事業の方向性	主な施策・事業	実績(平成26年3月時点)			
		完了	継続中	未実施	取り組み状況 ◎:具体策の完了 ○:実施済み、実施中 △:検討中、関連事業実施 ×:未実施
⑩ 交通安全施設の充実に努めます	○交通安全施設整備の推進				
	70 ・カーブミラー、標識、路面表示	—	★		○ 市民要望等に対し継続実施。
	71 ・地域交通管理計画の推進(ゾーン30)＜新規追加＞			★	
⑪ 交通安全に関する意識向上に努めます	○交通安全啓発の推進				
	72 ・幼稚園、小学校等への交通安全指導	—	★		○ 市内の全幼稚園・小学校に対し継続実施中(H24年度143回、H25年度144回)、スケアドストリート講習についてもH24年度2校、H25年度2校を実施。
	73 ・自転車利用者等への街頭指導	—	★		○ 駅周辺地区にてH24年度1,526回、H25年度1,643回実施(3パーティ、AM・PM毎に1カウント)その他企業等に自転車安全利用講習をH24年度27回、平成25年度34回実施。
⑫ 自転車利用をしやすい環境づくりに努めます	○自転車ネットワーク				
	74 ・自転車ネットワークの整備の推進＜検討から整備へ内容変更＞		★		○ H22自転車走行空間ネットワーク基本構想を策定、その後ガイドラインを踏まえ、H25一部改定を実施した。H25より整備手法を踏まえたネットワーク路線を選定中である。
	75 ・3・4・18		★		○ H27供用に向け整備中である。

外環道路の整備イメージ(国道14号付近)

※ 平成29年度の開通目標に向け整備中



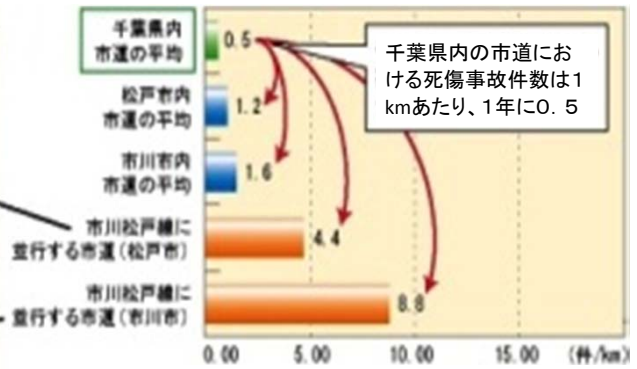
# 《外環道路の主な整備効果》 ※国土交通省関東地方整備局首都国道事務所HPより抜粋

## ① 走行時間の短縮



市川市役所～埼玉スタジアム2002	整備前75分 → 整備後35分	<b>40分短縮</b>
松戸市役所～東京ディズニーリゾート	整備前70分 → 整備後40分	<b>30分短縮</b>

## ② 生活道路の安全性向上



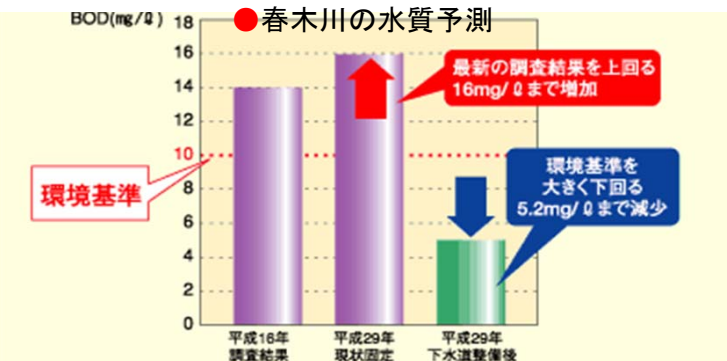
平成19年交通事項統計データ、平成19年千葉県道路現況調査、平成19年千葉県警集計資料より作成



## ③ 防災空間としての機能



## ④ 下水道整備による河川水質改善効果

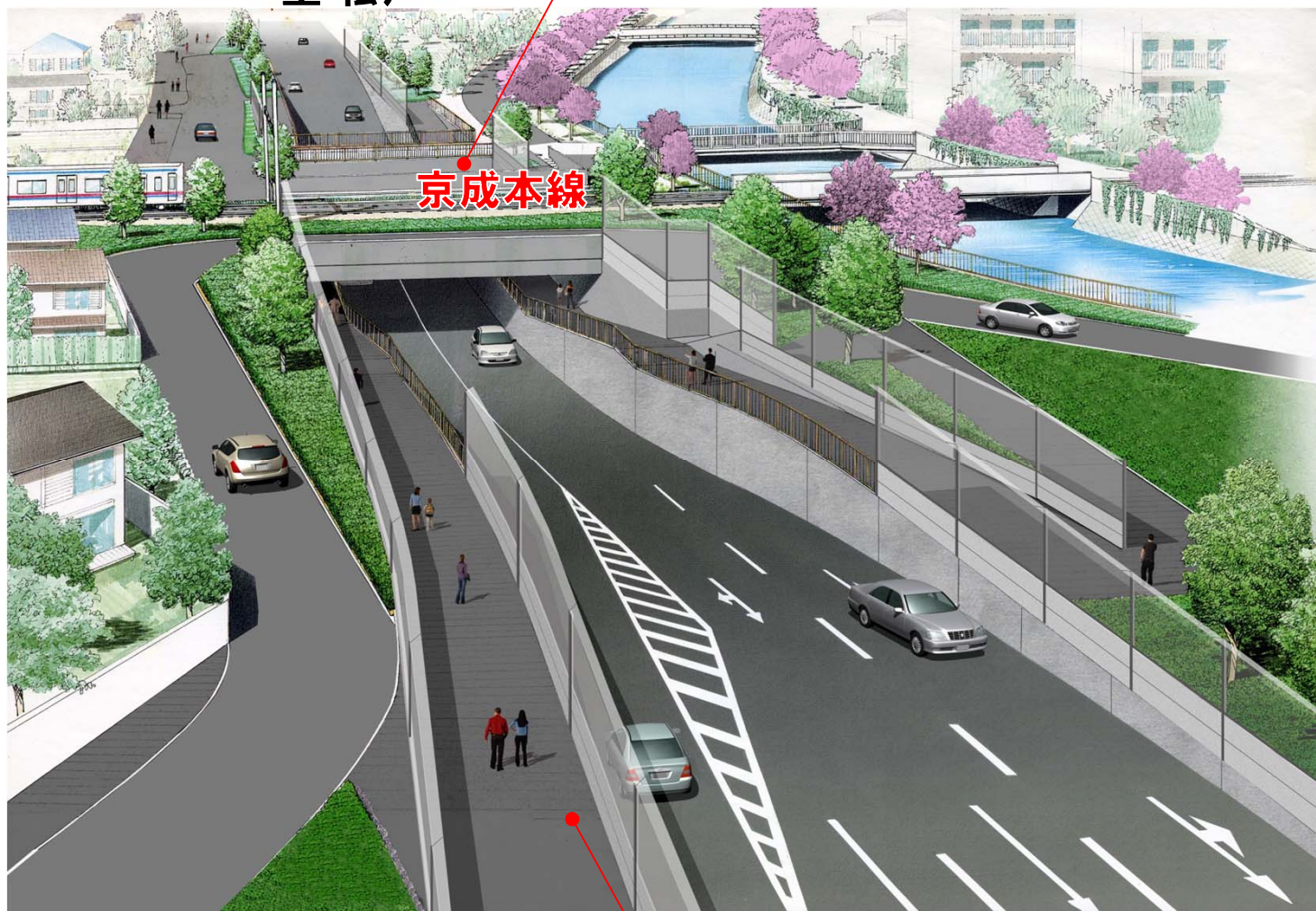


※千葉県、東京湾流域別下水道整備総合計画(H17.3)より  
 BOD: 河川の有機汚濁を測る代表的な指標で、10mg/l以上で悪臭等の発生が見られる。

都市計画道路3・4・18号浦安鎌ヶ谷線の整備イメージ(京成本線横断部) と整備効果  
※平成27年度の開通目標に向け整備中

京成本線に対する地下横断

至 松戸



京成本線

自転車歩行者道

至 浦安

《整備効果》

京成本線を地下横断とすることにより、踏み切り遮断に起因する渋滞の解消を図る。  
南北方向に渡る幹線道路を整備することにより、他の南北道路に集中する交通の緩和を図る。